

## 参考文献リスト

### ●全体にかかわるもの

- ・石黒圭 2013『日本語は空気が決める 社会言語学入門』光文社新書
- ・P. トラッドギル 1974 [土田滋訳 1975]『言語と社会』岩波新書
- ・宮岡伯人編 1996『言語人類学を学ぶ人のために』世界思想社
- ・上野智子ほか編 2005『ケーススタディ 日本語のバラエティ』おうふう

※シリーズ くもっと知りたい!日本語) ★ / くそうだったんだ!日本語) ☆ (岩波書店)

### ●1. 一般に言語とは

#### ●1.1 言語の普遍 言語のレシピ 類型と構造

[言語学 (入門・一般言語学)]

- ・岩波講座 言語の科学1 言語の科学入門』岩波書店
- ・郡司隆男・坂本勉『現代言語学入門1 言語学の方法』岩波書店
- ・マーク・C・ベイカー2003『言語のレシピ 多様性にひそむ普遍性をもとめて』郡司隆男(訳) 岩波書店 (2010 岩波文庫)
- ・角田太作 2009『世界の言語と日本語: 言語類型論からみた日本語 改訂版』くろしお出版
- ・リンゼイ J. ウェイリー2006『言語類型論入門』大堀壽夫ほか訳、岩波書店
- ・酒井邦嘉 2002『言語の脳科学 脳はどのようにことばを生みだすか』中公新書
- ・野矢茂樹、西村義樹 2013『言語学の教室 哲学者と学ぶ認知言語学』中公新書

#### ●1.2 言語の動態 歴史・方言・位相差・文体差

・[社会言語学]

- ・金水敏・乾善彦・渋谷勝己 2008『日本語史のインターフェース』岩波書店
- ・渋谷勝己, 簡月真 2013『旅するニホンゴ: 異言語との出会いが変えたもの』岩波書店\*
- ・木部暢子 2013『じゃって方言なおもしろいか』岩波書店☆
- ・R. M. W. ディクソン 2001『言語の興亡』大角翠訳、岩波新書

### ●2. 一般に(ことばと)文化とは 固有の文化/変わる文化、声の文化/文字の文化

・[文化人類学/認知言語学]

- ・エドワード・サピア 1998『言語: ことばの研究序説』安藤貞雄(訳) 岩波文庫
- ・鈴木孝夫 1973『ことばと文化』岩波新書
- ・池上嘉彦 1981『「する」と「なる」の言語学: 言語と文化のタイポロジーへの試論』大修館書店
- ・W. J. オング 1991『声の文化と文字の文化』桜井直文, 林正寛, 糟谷啓介訳、藤原書店
- ・今井むつみ 2010『ことばと思考』岩波新書
- ・瀬戸賢一(編) 2003『ことばは味を超える: 美味しい表現の探究』海鳴社

●3. 日本語の諸現象

●3.1 日本語の歴史 情緒的な古代人、論理的分析的な近現代人？

・ [日本語史]

- ・ 阪倉篤義 1993 『日本語表現の流れ』 岩波書店
- ・ 加賀野井秀一 2002 『日本語は進化する：情意表現から論理表現へ』 NHK ブックス
- ・ 大木一夫 2013 『ガイドブック日本語史』 ひつじ書房

●3.2 日本語の方言 東京人、大阪人、東北人？

[社会言語学／方言学]

- ・ 小林隆・澤村美幸 2014 『ものの言い方西東』 岩波新書

●3.3 日本語の文体 小説、手紙、論文、新聞

3.4 メディアと日本語 電話、メール、LINE、ツイート

[社会言語学／文体論／文章・談話／語用論／メディア論／コミュニケーション論]

- ・ 上野智子ほか編 2005 『ケーススタディ 日本語のバラエティ』 おうふう
- ・ 「特集 言と文」『文学』8-6、2007年11・12月号、岩波書店
- ・ 「特集 日本語のスタイル その使い分けと創造性」『月刊言語』37-1、2008年1月号、大修館書店
- ・ 高崎みどり・立川和美（編）2008 『ここからはじまる文章・談話』 ひつじ書房

●3.5 日本語の話し言葉 若者言葉 ッス敬語 配慮表現 アニメ声 政治家口調

[語用論／談話分析／音声（コミュニケーション）]

- ・ 定延利之 2011 『日本語社会のぞきキャラくり 顔つき・カラダつき・ことばつき』 三省堂
- ・ 定延利之 2005 『ささやく恋人、りきむレポーター 口の中の文化』 岩波書店★
- ・ 川原繁人 2015 『音とことばのふしぎな世界：メイド声から英語の達人まで』 岩波書店
- ・ 井上優 2013 『相席で黙ってられるか：日中言語行動比較論』 岩波書店☆
- ・ 滝浦真人 2013 『日本語は親しさを伝えられるか』 岩波書店☆

●3.6 バーチャル日本語 博士語、ヒーロー語、キャラ語尾

[社会言語学／文体論／文章・談話／語用論／メディア論／コミュニケーション論]

- ・ 金水敏 2003 『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』 岩波書店★
- ・ 田中ゆかり 2011 『「方言コスプレ」の時代：ニセ関西弁から龍馬語まで』 岩波書店

●3.7 日本語の構造 語構成、複雑な接語と接辞

- ・ 宮岡伯人 2012 『語とはなにか・再考 日本語文法と文字の陥穽』 三省堂

●4 言語と文化、再び

- ・ 認知類型論：堀江薫・プラシヤント・バルデシ 2009 『言語のタイポロジー』 研究社（第1章「認知類型論とはどのような研究分野か」）